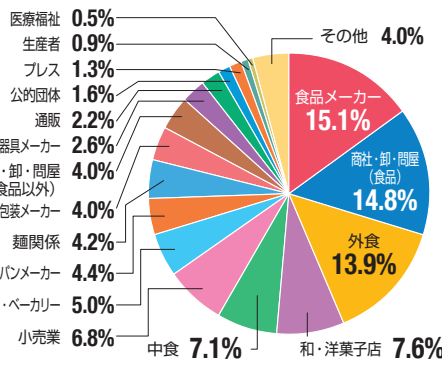
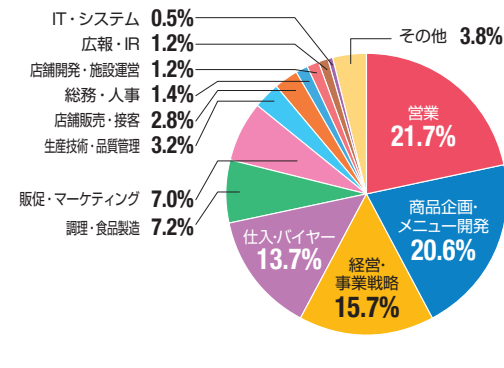


前回実績 (2016年 4月13~15日・東京ビッグサイト)

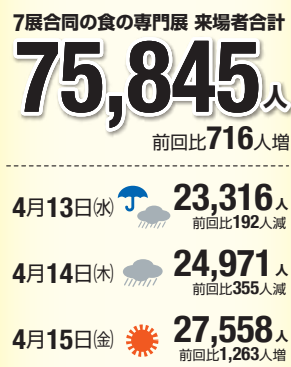
来場者業種別内訳 (7展合同/単位=%)



来場者職種別内訳 (同時開催展は除く)



来場者の内訳 (7展合同・単位=人)



出展者一覧

出展者名
アイコブ豚生産者の会
篠秋山機械
アサヒ産業株式会社
株式会社アビー
イソル株式会社
株式会社イシダ
今枝メリアス株式会社
岩田屋フード株式会社
岩手前沢牛協会
株式会社大道産業
株式会社おみや
小川グループ
株式会社小野商事
オリブ牛振興会
オンワード通商株式会社
香川県食肉事業協同組合
(一社)家畜改良事業団
キャリオン(有)
キューワクリン株式会社
京都肉流通推進協議会
群馬県食肉品質向上対策協議会
株式会社サイトウミート
真光食糧工業株式会社
讃岐牛・オリブ牛振興会
株式会社サンテツ技研
株式会社システムエース
(一社)食肉科学技術研究所
株式会社食肉通信社
スターゼン株式会社

出展者名
スペイン自豚肉協会
住商フーズ株式会社
株式会社榎精宏
(公社)全国食肉学校
全国食肉事業協同組合連合会
全国肉牛事業協同組合
全国農業協同組合連合会福島県本部
株式会社ソーラス
株式会社大商金山牧場
大地ミート株式会社
高橋畜産食肉株式会社
株式会社南竹内食品機械
谷口ファーム
(有)タローファーム
(一財)畜産環境整備機構
株式会社ツカコム
つなんポーク
デブ口株式会社
株式会社岡精工
テラダ・トレーディング株式会社
東亜交易株式会社
東京食品機械株式会社
鳥取県牛肉販売協議会
中村産業株式会社
名和食鶏(有)
南州農場株式会社
株式会社なんつね
株式会社ニチレイフレッシュ
(一社)日本食肉加工協会

出展者名
(公財)日本食肉消費総合センター
(公財)日本食肉生産技術開発センター
(公財)日本食肉流通センター
(一社)日本畜産副産物協会
日本ハム・ソーセージ工業協同組合
株式会社日本プレハブ冷蔵
日本羊腸輸入組合
(有)農業生産法人のさき
ハイテック株式会社
東富士農産株式会社
株式会社日山畜産
Frigorificos Andaluces De Conservas
マイコック産業株式会社
谷口ファーム
(有)タローファーム
(一財)畜産環境整備機構
株式会社丸大ミート
株式会社山城農産
株式会社山梨県銘豚普及推進協議会
株式会社ヤマニパッケージ
山本ビニター株式会社
米久株式会社
株式会社ラディクス
リングトレーディング株式会社
SPC House of Media Sp.oo.,Sp.k
(有)レトルトジャパン
ワタナベフーマック株式会社

食肉産業展2016主催者企画特設ゾーン・イベントの結果

銘柄牛肉、銘柄ポーク、地鶏・銘柄鶏の3部門について来場者の試食評価により入賞銘柄を決定し入賞者の表彰式を実施しました。今回は銘柄牛肉が加わり、名実ともに国内唯一の三大食肉についての食味コンテストが実施されることとなりました。

銘柄食肉コンテスト

コンテストの目的は出品者全員に対してコンテストでの評価結果を報告し、今後の品質改善や販売促進に役立てられる情報として活用していただいております。



さらに入賞銘柄については事務局の(株)食肉通信社が発行するオフィシャル媒体、日刊食肉速報、週刊食肉通信、月刊ミートジャーナルに掲載され全国に発表致しました。同コンテストの詳細は「週刊食肉通信2016年5月31日号」で特集記事が掲載されました。このほか関連業界紙・誌では、農業・畜産・流通・グルメ情報誌など多数、掲載されました。

表彰式は、展示会最終日にコンテスト会場で実施され、食肉産業展実行委員会・田家邦明副実行委員長より表彰状と記念盾が授与。また惜しくも入賞を逃した銘柄には、(株)食肉通信社代表取締役社長・林加都郎より審査員特別特別賞が贈られました。会場には開催当時の農林水産大臣・森山裕衆議院議員(写真)も訪れ、銘柄食肉の品質の高さを体感されました。

第14回 銘柄ポーク好感度コンテスト

銘柄	出品者	産地
最優秀賞	甲州富士桜ポーク	山梨県
優秀賞	オリブ豚	香川県
優良賞	信州太郎ぼーく	長野県
審査員特別賞	他5銘柄	

第12回 銘柄鶏肉好感度コンテスト

銘柄	出品者	産地
最優秀賞	太陽チキン	静岡県
優秀賞	大地のハーブ鶏	鳥取県
審査員特別賞	他3銘柄	

第1回 銘柄牛肉好感度コンテスト

銘柄	出品者	産地
最優秀賞	信州桜井和牛	長野県
優秀賞	前沢牛	岩手県
優良賞	京都肉	京都府
審査員特別賞	他7銘柄	

第42回

2017食肉産業展 出展規定

2017 Japan Meat Industry Fair 42nd.

出展小間料金ほか

①1小間=9㎡(間口3m×奥行3m×高さ2.7m)

300,000円(税抜き)

②出展小間料金に含まれるサービス

- 出展小間スペース
- 招待状、ポスターの支給、公式ホームページ、メディア、ガイドマップへの情報掲載、受付、登録、運営管理費、広告宣伝費

③出展小間料金に含まれないもの

- 展示小間の装飾工事費、維持運営費
 - 電気・水道・ガス工事費とその使用料
 - 展示物および人的損害保険料
 - その他、出展小間料金に含まれるもの以外の費用
- ※食肉産業展の出展小間はスペース渡しです。隣接小間との間仕切り、壁、社名板、パラベット、カーベット等の基本装飾は付帯していません。

お得な出展 サポートプラン

●パッケージプラン

1~3小間までの出展者には基本装飾を付帯したお得なパッケージプラン(間仕切り、壁、社名板、パラベット、カーベット(色選択可)工事付)をご用意しております。出展小間料金にプラスしてお申し込みください。

- ①1小間用パッケージプラン 50,000円(税抜き)
パッケージプラン料金+小間料金=**350,000円(税抜き)**
- ②2小間用パッケージプラン 80,000円(税抜き)
パッケージプラン料金+小間料金=**680,000円(税抜き)**
- ③3小間用パッケージプラン 100,000円(税抜き)
パッケージプラン料金+小間料金=**1,000,000円(税抜き)**



●フルサポートプラン

基本装飾工事に電気、水道、ガス工事(一次側)一式をまとめてご提案させていただきます。ご希望に応じて出品類(展示台、椅子、テーブル)の手配、レイアウトまでお見積りのうえ承ります。その他のプラン、エントリー方法をご覧ください。

株式会社食肉通信社 食肉産業展事務局

●お申し込み・お問い合わせ

東京 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町18-1 TEL 03(3663)2011 FAX 03(3663)2015
大阪 〒550-0004 大阪市西区本町3-8-9 TEL 06(6443)4947 FAX 06(6443)9887
九州 〒812-0029 福岡市博多区吉門戸町3-12 TEL 092(271)7816 FAX 092(291)2995
<http://www.shokuniku.co.jp>

第42回

2017食肉産業展

2017 Japan Meat Industry Fair 42nd.

国内最大級の業務用食品・食材、機器、容器の総合見本市!!

出展募集のご案内

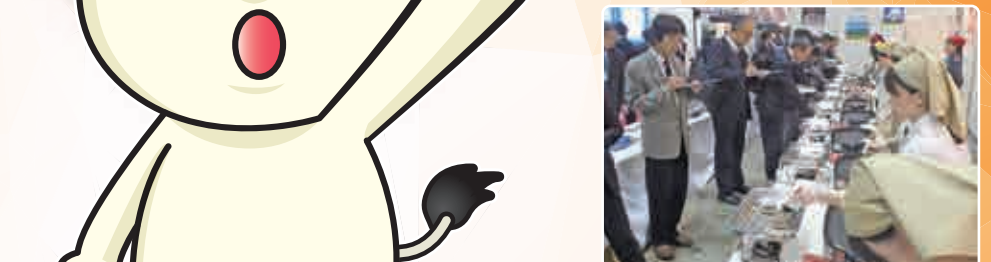
7展示会
合同開催

会期◎2017年4月12日(水)→14日(金)

会場◎東京ビッグサイト 東4ホール

開催テーマ

チェンジは
チャンス!



主催◎食肉産業展実行委員会 事務局◎株式会社食肉通信社

食肉産業展HPはコチラから▶ <http://www.shokuniku.co.jp>

第42回 2017食肉産業展

2017 Japan Meat Industry Fair 42th.

75,000人超の
バイヤー・ユーザーが来場！
フード業界が最も注目する
国内最大規模の総合見本市



食肉業界唯一の専門展示会「第42回食肉産業展2017」が平成29年4月12日(水)から14日(金)までの3日間、東京ビッグサイト東4ホールで開催されます。特色あふれる銘柄食肉が販路拡大を旨として提案されるほか、食肉処理・食肉加工・流通・販売現場の省人化・効率化に資する新機種・新製品が勢ぞろいする一大イベントとして大きな注目を集めています。

同時に、ファベックス、デザート・スイーツ&ベーカリー展、食品&飲料OEMマッチングEXPO、ハラールマーケットフェア、ワイン&グルメ、麺産業展など6展示会との合同開催となり、「食」の情報をフルコースで提案する国内最大規模の総合見本市としてバイヤー・ユーザーの注目度を高めています。

食肉業界はもちろん、中食・外食の関係者にも情報を提供することができ、マーケットニーズのトレンドを感じ取っていただくことができる「第42回食肉産業展2017」にご期待下さい。

展示内容 Exhibition Contents

開催テーマと展示内容

開催テーマ チェンジはチャンス！

食肉小売ばかりでなく中食・外食の最前線では「違い」を打ち出す食肉素材・銘柄の発掘が、サクセスにつながる有力な方法になっています。また、食肉処理・加工・流通・販売の現場では、省人化・効率化を図りコストを圧縮することはもちろん、賞味期限の延長や新パッケージの採用などによる商品力のアップにも関心が高まっています。「最適な改革でチャンスを引き寄せたい」という期待がうねりのように高まっているいま、バイヤーやユーザーを「成功」へと導く新提案を発表する絶好の場として「第42回食肉産業展2017」をご活用いただけますようお願い申し上げます。

食品特設ゾーン



内外の銘柄食肉、関連食材をアピール

【国産食肉製品取引ゾーン】

食肉…国内では、牛・豚・鶏を合わせ1,000以上の特色あふれるブランド食肉が誕生しています。血統、飼育方法、安全性にこだわりを持ち、販路拡大と認知度向上を目指す優良銘柄食肉多数が、消費者に「違い」を実感してもらえるブランドのアピールを行います。



出展サポートプラン

食品のPRは試食が命。来場者に安全に試食してもらうため、保健所や消防への申請手続きが欠かせず、衛生設備などの経費も必要となります。事務局が用意したサポートプランで、効率的にビジネスチャンスをキャッチしていただけます。割安で手続きも簡単な「出展サポートプラン」をご希望の場合は、「国産食肉製品取引ゾーン&ワールド・ミート・スクエア」専用申込書でお申し込み下さい。

食肉加工品・総菜…女性の社会進出の進展を受け、加工品や総菜のニーズの高まりが止まりません。これに歩調を合わせ、「6次産業」という旗印のもと畜産現場でもブランドを冠した個性あふれる食肉加工品・総菜が数多く開発されており、積極的な提案を行います。

その他食材…シーズニング、添加物、ケーシングなどは食肉加工の必須アイテムですが、商品開発や他社との差別化、付加価値アップに欠かせない要素という角度での提案に力が入っています。

【ワールド・ミート・スクエア】

食肉需給の観点では、海外からの輸入食肉が欠かせない存在となっています。米国やカナダ、豪州やニュージーランド、デンマークやオランダなどに限らず、メキシコやチリ、スペインやポーランドといった広範な国々が日本マーケットへの売り込みに力を入れています。同時に、商品力のアップにつながる新食材の提案にも期待がかかります。

機械・資材ゾーン

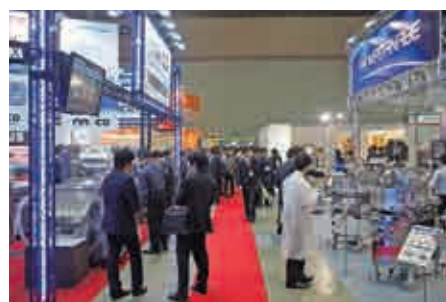
食肉専門店から食品工場まで最新の機械・システム・資材でサポート

【食肉・加工機械・資材取引ゾーン】

7展示会の中でも「食肉産業展」は、食肉処理・加工用の機械・システム・資材が集中的に出展されることが大きな特徴で、「どの展示会よりも成約率が高い展示会」としてご出展の皆さまから高い評価をいただいております。簡易な道具類からオートメーションラインまで、省人化、効率化、高歩留り、衛生面の向上、新商品開発など、作業現場を劇的に改革する各種新製品が一堂に展示されます。

出展サポートプラン

一般小間の場合、1~3小間の小規模展示用に、お得な「出展サポートプラン」を用意しております。基礎的な小間装飾を一体化させた「パッケージプラン」をお申し込み下さい。



コンテスト&テイスティングゾーン

牛・豚・鶏肉 全国銘柄食肉好感度コンテスト

食肉産業展の注目度No.1イベントが銘柄食肉好感度コンテストです。来場者が試食して好感度を採点し、今年度の人気No.1ブランドを決定してきました。全国の多様な銘柄食肉が勢ぞろいし、最もポピュラーな手法によりおいしさを評価する場として定着しています。出品者にとってはマーケットリサーチとして、バイヤーにとっては新規導入ブランドの発掘の場として有効に活用していただいております。また、上位入賞銘柄食

肉の販路拡大に寄与する効果も発揮しています。

牛肉部門は昨年スタートしました。豚肉部門は3年前にグランドチャンピオン大会、鶏肉部門も2年前にグランドチャンピオン大会を実施して大きな注目を集め、業界活性化に貢献しております。



出品のご案内

出品にあたっては、試食食肉のご提供および週刊「食肉通信」での情報発信費用をお願いしております。コンテスト出品応募要領は、事務局(電話03-3663-2011)にお問い合わせ下さい。同時に、コンテストと併行して「国産食肉製品取引ゾーン」へのご出展も勧めしております。試食していただいた出品食肉の特徴を来場者に直接アピールし、あわせて周辺商品を提案する貴重な情報発信の場として有効にご活用下さい。詳細は上記「食品特設ゾーン」の「出展サポートプラン」をご参照下さい。

GREETING

ごあいさつ

食肉産業展実行委員会が主催する食肉業界最大のイベント「第42回食肉産業展2017」が平成29年4月12日(水)から14日(金)までの3日間、東京ビッグサイト東4ホールで開催される運びとなりました。

食肉産業展では、食肉製品および食肉処理・加工用の機器・システム・資材を総合的に紹介する食肉産業界の一大祭典として、商談や情報交換の場を提供することにより、食肉産業の高度化、食肉の需要拡大を通じて業界の発展に寄与するべく努めてまいりました。

近年、食肉製品では国内外を問わず、地域や生

産者の特色を十分に発揮した新素材が続々登場しております。また、処理・加工・流通・販売現場に向けては省人化や衛生管理の充実、安全性の向上、新商品製造の提案など、ご要望にかなう技術や情報が積極的に発信されています。ご出展の皆さまおよびご来場の皆さまともに価値を感じていただける展示会とするべく努力を重ねてまいりました。

つきましては、食肉産業界の活性化および食肉消費の拡大を図り食肉産業の一層の発展につなげるため、本展示会の成功に向けた関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。



2016年8月吉日
食肉産業展実行委員会 実行委員長

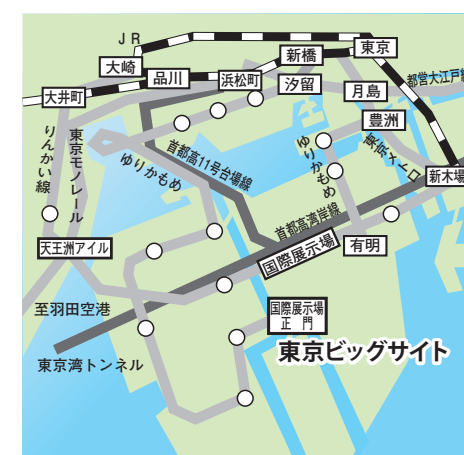
塩飽 二郎

開催概要

名称	第42回 食肉産業展2017 (2017 Japan Meat Industry Fair 42th.)	名 称	合連会社/(一社)日本畜産副産物協会/(一社)日本ハンバーグ・ハンバーガー協会/(一社)日本食鳥協会/全国食鳥肉販売衛生同業組合連合会/(他関係省庁申請予定)
テーマ	『チェンジはチャンス!』	出 展 料	300,000円(税抜き)
目的	食肉の生産・食肉処理・加工・流通・販売に至る専門的な情報を一堂に集めて展示・紹介することにより、食肉産業界全体の発展に寄与します。さらに、マーケットニーズをとらえ、関係業界相互の交流を促すため、各種業務用食品関連専門展示会とともに7展示会合同開催の体制を構築することにより広範囲で最新の情報を発信し、出展者と来場者の商談、情報交換の場を提供することで、食肉産業界および関係食品業界の発展に寄与します。	入 場 料	招待制・無料(招待状がない場合は有料4,000円)。同時開催の7展示会への入場が可能
会 場	東京ビッグサイト 東4ホール (東京都江東区有明3-21-1) 同時開催7展示会は東1~4ホールで開催	出展対象	食肉/食肉加工品/食品/調味料・添加物・タレ/食肉処理機械/食肉加工機械/と畜場関連機器・設備・システム/店舗機器/計量・包装機器・資材/衛生・検査機器/管理・認証システム/調理・保管機器・システム/食肉・畜産関係団体・機関/その他食肉関連資材、システム
会 期	2017年4月12日(水)~14日(金) 3日間 10:00~17:00	開催告知	【招待状】主催者6万枚、出展者6万枚、計12万枚を食肉業界関係各社など関係業者に配布 【広告・PR】オフィシャルサイト、食肉通信社定期発行物で特集記事・広告を発信。関係業界専門誌に対しニュースリリースを配信
開催規模	100社230小間(7展示会合計1,000社1,500小間)見込み		
来場者数	15,000人(7展示会合計76,000人)見込み		
主 催	【食肉産業展実行委員会】(公財)日本食肉生産技術開発センター/(公財)日本食肉消費総合センター/(公財)日本食肉協議会/(一財)畜産環境整備機構/全国食肉事業協同組合連合会/(一社)日本食肉加工協会/日本ハム・ソーセージ工業協同組合/(公財)日本食肉流通センター/株式会社(運営事務局)		
後 援	農畜産業振興機構 (公社)日本食肉市場卸売協会/(一社)日本食肉協会/全国食肉生活衛生同業組合連合会/全国食肉業務用卸協同組		

◎プレゼンテーションセミナー募集◎
法改正や最新研究成果、新機軸など、出展者のプレゼンテーションセミナーを募集します。セミナー会場は食肉産業展会場内を予定。お問い合わせは事務局(03-3663-2011)まで。

会場アクセス



第42回 2017食肉産業展 開催会場

2017 Japan Meat Industry Fair 42th.

東京ビッグサイト 東4ホール

- りんかい線「国際展示場」駅下車 徒歩約7分
- ゆりかもめ「国際展示場正門」駅下車 徒歩約3分
- 都営バス「東16系統」東京駅八重洲口 乗車約40分

※お車でのご来場は混雑が予想されます。なるべく公共交通機関をご利用ください。